

平成 26 年度 東小学校区 第 2 回きずなづくりトークまとめ ～仮称：地域コミュニティ連絡会～

10月2日(木)に開催された「東小学校区第2回きずなづくりトーク～仮称：地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。
(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話 983-2708)



ご参加ありがとうございました。

【当日参加団体一覧】

団体名		
大社町自治会	大宮町 2 丁目自治会	コスモスの会
東本町 1 丁目自治会	東町自治会	東幼稚園 PTA
東本町 2 丁目自治会	スポーツ推進委員会	東小学校
日の出町自治会	体育振興会	東小学校 PTA
南二丁目自治会	民生委員・児童委員	南中学校
雪沢自治会	東本町友和会	地域包括支援センター

※当日参加者 18 名

会場アンケート：「テーマ別会議」「協議会設立」等について、
参加者の意向を伺いました。



【会場アンケート結果】

テーマ別会議
①中学生が日常的に地域と係わる機会について考えよう！・・・・・・・・・・0人
②組単位で高齢者を見守る方法を考えよう！・・・・・・・・・・3人
③地域行事（校区祭や訓練）に新たな参加者を増やす方法を考えよう！・・15人
④その他・・・・・・・・・・0人

※会場アンケートの結果、③について全員で話し合いました。（裏面「テーマ別会議まとめ」参照）

協議会設立の意向
①協議会に向けた取組みを進めたい・・・8人
②連絡会を継続したい・・・・・・・・・・8人
③その他・・・・・・・・・・2人
協議会設立を検討する場への参加意向
①参加したい・・・・・・・・・・17人
②参加できない・・・・・・・・・・0人
③その他・・・・・・・・・・1人

テーマ

地域行事に**新たな参加者を増やす方法**を考えよう!!

- 「新たな参加者を増やす方法・アイデア」について、参加者全員のご意見・ご提案をまとめました。

新たな参加者とは誰か？

- 高齢者
- 共同住宅の人
- 若い人 など

★参加しない人に対しては
⇒なぜ来ないか「リサーチ」が必要!!



準備・企画段階 から工夫しよう

アクション



仲間・声かけ作戦

- ・日常におけるコミュニケーションの強化
- ・普通の会話から良い人間関係を作る。
- ・隣りあった校区・自治会・組は、両方参加OKにする。
- ・子ども会・老人会に参加してもらう。
- ・各会(団体)毎に参加人数の要請をする。
- ・集合住宅は管理人(班長)が一軒ずつ回る。
- ・個別の招待状を出す。
- ・一度来た参加者にその後も声かけをする。
(その後のフォロー)
- ・定会(組内会議)をやる
- ・リサーチを兼ね、自治会長の集会や積立を毎月やる。顔を合わせる。
- ・高齢者は意外と人見知り／好き嫌いあり

広報強化作戦

- ・行事開催をPR・公開する。
- ・行事のことをもっと宣伝する。
- ・メルマガやHP作成(若い人向け)
- ・広報活動を活発化する(地域の防災訓練日が分かれば、中学校の部活は中止にしている)
- ・ありきたりの回覧版で済ますのではなく、今流行の漫画、絵文字をカラーでおもしろく回覧紙を作成してみたらどうか。
- ・中心の行事(特に防災訓練)に合わせ、他行事への参加をPRする。
- ・町内の小中学生から町内会へ要請させる。

役割分担作戦

- ・役があると参加する。(短い時間でも良い)
- ・何でもいいから役を頼む。(中学生・高校生)
- ・役割分担を細かく明確に多くの人に。
- ・企画書を多くする。(企画段階から参加多数)
- ・企画の段階で各団体に参加してもらう。

プログラム内容 を工夫しよう

アメ玉作戦

- ・景品／お土産をたくさん用意する。(ごほうび／奥さんの喜ぶプレゼント)
- ・プレゼント、子供は子供に、大人は大人に。
- ・やっぱりPRとプレゼント作戦
- ・補助金をたくさんくれれば・・・。
- ・アメを用いる。
- ・簡単な保存食の作り方と試食会(防災訓練)
- ・抽選会(お金がかかるけど・・・)

楽しい防災訓練

- ・子供たちも喜んで参加する楽しい防災訓練にする。(バケツリレーなど)
- ・子ども会とタイアップし、的当て訓練実施。
(例年子供の参加 60 名→今年 125 名)

防災意識 UP 作戦他

- ・被災地の方の防災体験と意見交換。
- ・新たな参加予定者に
 - ①防災のためだとハッキリ伝える。
 - ②どうしたら来てくれるか聞いてしまう。
- ・防災訓練を市で統一してほしい(中学生の参加が増加する)大会がある時は部活を中止できない。

子ども向け作戦

- ・子供主役で大人も多数参加作戦。
- ・子供の参加を増やす方法を考える。
- ・中学校との情報共有
- ・子供が地域を活性化する。(あいさつなど、子供から地域に貢献)

校区祭・種目工夫作戦

- ・今までにやっていない新しい項目を追加する。
(例:「健康体操のやり方」指導)
- ・魅力的な種目を増やす。(例:野菜のつかみどり／人生航路リレー／昔の思い出競争(高齢者のため))
- ・町内会単位で参加できる種目をつくる。
- ・校区祭で高齢者に来てもらうために、町内対抗「長寿！年齢たし算」という種目を作る。
- ・有名なスポーツ選手等を招待して、一緒に競技の機会を作る。

その他(新しい試み)

- ・自治会行事の中で多くの人が気軽に参加できることを企画する。
- ・新イベント、やり方を工夫する。
- ・イベントマップ(広域)を作って、外からの見学者(参加者)に地域内の方へ声掛けがされて一緒に参加できるキッカケとする。
- ・協議会へ発展したら託児コーナーを設置。
- ・いいところを見つけてみよう。